

平成28年度第4回岡山県環境審議会廃棄物対策部会議事概要

(開催要領)

- 1 開催日時：平成29年2月2日（木）14：00～15：05
- 2 場 所：ピュアリティまきび 2階「サファイア」
- 3 出席者：
 - 委員（五十音順、敬称略）
阿部 宏史、伊東 秀之、岡本 輝代志、内藤 はま子、
野上 祐作／5名（欠席2名）
 - 事務局
循環型社会推進課長、各班長、事務局職員／5名

議 題	(1) 第4次岡山県廃棄物処理計画（案）について (2) 報告
会議資料	別添資料のとおり
<p>意見1</p> <p>循環型社会 推進課長</p> <p>一般廃棄物 班長</p>	<p>【議題】</p> <p>事務局から、資料1～3及び第4次岡山県廃棄物処理計画（案）（以下「計画案」という。）について説明</p> <p>計画案38ページ「(2) ごみ処理の広域化の促進」についてであるが、かつてはダイオキシン対策のために、焼却施設はある程度の大きさが必要であったが、ダイオキシン類対策が進んだ中、サーマルリサイクルによる地球温暖化防止の観点から、なぜ「施設の大規模化」が必要なのか読み手に分かりにくいのではないかと懸念されている。</p> <p>現状で一般廃棄物は減少してはいないが、前述しているように、今後の人口減少や3Rの取り組みにより、排出量の減少が見込まれていることから、安定的、効率的な処理を確保するためにも、施設はある程度集約し、大規模化する必要がある。</p> <p>また、サーマルリサイクルは、ごみの焼却熱を利用して発電等を行い、新しいエネルギー源とすることで、二酸化炭素の削減効果を求めようとするものだが、小さな施設では安定的な熱回収や発電ができない。</p> <p>高効率な発電を行うには、1日最低70トンのごみが必要とされている。</p>

意見 2	大規模な施設を維持していくために、燃やすごみが増えないといけないかのように一般の人は思うのではないだろうか。何かよい表現はないか。
意見 3	表現の問題なので、事務局で記載内容の検討だけはしておいてください。
意見 4	計画案の資料 10 ページには「ペットボトル」という単語があり、資料 3 の 9 ページの修正後計画案にはない。どちらが正しいか。
資源循環推進 班長 議事進行	<p>御指摘のとおりである。計画案の方が正しい。</p> <p>他に内容に係る意見もないので、計画案については部会の承認を得たということにさせていただく。</p> <p>それでは報告事項に入る。平成 29 年度の予算要求の状況について説明をお願いします。</p> <p>事務局から、資料 4 について説明</p>
意見 5	食品ロスは、（環境学習センター）アスエコで既に取り組み始めており、食材を捨てる部分がないよう工夫した料理作りの冊子も作成していたと思う。市町村等とも連携すべきだが、考えているのか。
循環型社会 推進課長	既に岡山市等との連携会議を持っているが、その中で、例えば、岡山市では、町内会での食品ロス削減の講習会の開催、食品ロス削減レシピの募集などを行い、最近ではサルベージ・パーティも開催している。各市町村で、少しずつ取組が進みはじめている。
意見 6	災害廃棄物についてであるが、災害発生時に最も必要となる資機材はパッカー車だと聞いた。昨年の熊本地震のときも、100 台近くが派遣されたようである。また、フェリーで運んだ例もあるようだ。訓練計画の検討に当たっては、こうした過去の事例で得られた教訓を踏まえてほしい。
循環型社会 推進課長	熊本地震では、一般廃棄物の処理施設も被災したため、岡山県内からもパッカー車が行っている。また、ごみの焼却処分等は、近隣

	<p>の自治体が協力して行ったと聞いている。</p> <p>また、ごみの集積所においても、集まったごみが道路にあふれたり、穴を開けていないスプレー缶が出されるなど、安全上の問題も確認されている。</p> <p>こうした過去の災害で実際に発生した問題も情報収集し、担当者講習会等で周知していきたい。</p>
議事進行	<p>本日は今年度の部会の最終日であるので、廃棄物行政全般についても何か意見があればお願いしたい。</p>
意見 7	<p>高齢化社会の進展で、排出されるごみの内容が変わってくる。例えば過疎地域に済んでいる高齢者は、あまり頻繁に買い物に出ることができないため、一度の買い物でたくさん購入するが、使い切れずごみになる物もあるだろう。移動販売車が巡回している地域もあるが、循環型社会構築の観点からも、こうした社会システムの検討が必要かもしれない。</p> <p>また、家の中に眠る電気製品等も多いが、処分するには費用がかかるので、ますます資源が循環しなくなることも問題だと感じている。</p>
意見 8	<p>各家庭にたくさんの家電類が眠っているというのは、以前から問題になっている。</p>
循環型社会 推進課長	<p>計画案でも35ページ「(1) 再生・処理システムの見直し」において、高齢化社会の進展に伴う課題に触れている。ごみ処理のシステムの見直しなど、担当部局とも連携し、考えてまいりたい。</p>
意見 9	<p>計画案の資料17ページによれば、玉野市の生活系ごみの排出量が多い。ごみの有料化に踏み切っていないことが主な原因だと推測する。各地域ごとの事情があると思うが、県でもできる対応はしてほしい。</p>
	<p>以 上</p>